



「七日市」の会場となる七日町通り

の付く日に行われた七日市などをイメージし、商店街の賑わいの創出のため、スタンブ会や商店会の方と協議を持つ中で機運が高まり、その結果事業計画を行ったもの。6月から10月までの5カ月間において、7日にそれぞれの賛同する店舗の前に、木材ベンチを設置したり、共通ポードを設置したりするなど、商店街へ足を運ぶ機会を作りたい。この試みが商店街主体で継続されることも目的のひとつである。

問 新庄市の100円市のような 魅力的なことがないと、マルコの蔵の産直にしても、観光やスタンブ会、プレミアム商品券などと組み合わせるなどして取り組むべき。商店街単独開催では魅力がないのではないかと。外部からの視察など、集客とも繋ぎ合わせ、考えるべきである。

答 丹産業課長 指摘についてはそのとおりであり、今後詳細をつめ、商店街に行かなくなった町民へのアプローチに併せ、外部からの集客に合わせた開催、プレミアム付商品券の発行に合わせた取り組みについても考えていきたい。商工会やスタンブ会、町観光協会と

問 出産おめでとうメッセージカードもお母さんたちから喜ばれると思う。新規事業として通園バス利用助成は第1子も対象となるのか。また家庭育児支援金の拡充は、チャイルドシート購入



キックオフイベントでの子育て応援宣言

問 助成は。五十嵐健康福祉課長 通園バス利用助成金は議会の政策提言にあるとおり、利用料の半額を補助する。現在往復利用で月額2500円、片道が月額1500円となっており、それらの半額を助成する事業となる。家庭育児支援金については、対象者と金額の両方を拡充した。対象者は、3歳未満児を就園前までに拡充し、年齢に応じて支給

問 町長 当初チャイルドシートについては、レンタル事業についての提案もあったが、衛生面からも購入費として、第1子にのみ平均2万円の商品と考え、その半額を助成することで事業を検討している。年子の場合なども想定されるが、どうやったら解決できるのかも含め29年度に検討し、補正での対応も視野に入れ検討していきたい。

その他の質問

- 仕事と子育ての両立支援奨励金について
- 産地パワーアップ事業について
- ほ場整備事業について
- 合併処理浄化槽設置整備事業について

問 ブラックラズベリーの里づくり事業とは

高橋 芳夫 委員

問 ブラックラズベリーの里づくり事業については、収入の試算や支援内容は、

答 丹産業課長 ブラックラズベリーの里づくり事業については、健康づくり事業と併せ、抗酸化物質等で注目されているベリー類全般を根付かせていくことを目的としている。まずは、日本では少なくほぼ流通していないブラックラズベリーの



ブラックラズベリーへの期待が高まる

苗木を希望生産者の協力で試験的に栽培することになる。ブルーベリーに近い栽培方法となるが、春に植え秋に実がなっても一度落し、翌年度に再度実がなつてから収穫することになる。生産者の組織化、ジュースやジャムなどの開発品も視野に新規お土産品とできればと思う。農業技術普及課や農林大学校等の指導も受けながら進めていく。

その他の質問

- かねやま大薬校について
- プレミアム付商品券について
- 観光対策補助事業について

大堰周辺ライトアップの事業計画は

寒河江 宏一 委員

問 大堰周辺のライトアップが大変好評である。2月18日に照明の作り方の講習会が開催された。この事業に携わった東京都市大学の学生である上



今年も始まった街なかライトアップ

村さんは昨年11月に開催された新人照明デザイナー発掘オーディションにおいて、町のライトアップ事業を発表し最優秀賞をいただいたとのこと。映像と歌も交えたプレゼン内容でライトアップに合ったしっとりとしたイメージのものであった。新たに開催予定の月市・楽市開催事業とのタイアップや29年度の事業計画はどうなっているのか。

答 丹産業課長 東京都市大学の小林研究室が25

年度に試験的に灯りの実証を行った。景観審議会の住吉先生のご縁からの取組みである。26年度に本格的な取組みを開始し、27年度からは大堰付近から街なかへ実施範囲を広げ、28年度は個人宅や店舗の協力をいただき実施した。参加いただいた方からは好評をいただいた。29年度は拡充させていた。10月、七日町、内町へ範囲を広げていきたい。ゴールデンウィーク前に設置を予定

しており、10月中下旬までのライトアップを考えている。また月市・楽市開催事業の期間は6月から10月を予定しているため、金山らしい灯りとともに賑わいの一助になるよう連携しながら取り組んでいきたい。

その他の質問

- がん特異的揮発性バイオマーカーの同定研究事業について
- ライブカメラの設置・運用について
- 長屋門の再構築について
- 観光PRのあり方

政策顧問会議の実施計画は

柴田 清正 委員

問 先日の皆川先生の講演は、地域弱体や人口減少による我々の不安を、地方だからこそできることがあるという元気と勇気に変えていただいた講演であった。ぜひ岸宏一先生からお出でいただきたいと考えているが今



政策顧問 皆川芳嗣氏による講演 (3.1)